



医療安全推進ネットワーク交流会

2025年10月6日（月） 13:30～
神奈川県看護協会 第1研修室

【スケジュール】

- 13:30～協会からの伝達
- 新規会員の方の自己紹介
- 研修報告
- 情報交換
- 14:00～講義研修
題名「 医療事故発生時の対応 」

講義とグループワークで進行予定



1. VTE予防研修のお知らせ

申し込み締め切り10/10

VTE 医療安全オンラインセミナー in 神奈川

オンラインセミナー
開催日時
2025年10月11日(土)
13:00 ~ 14:30

【お申込み方法】
お申込み方法等詳細につきましては、
裏面をご参照ください。

病院全体で取り組む VTE（静脈血栓塞栓症）予防
Episode 2

会 場：オンライン配信 (Zoom)

対 象：医療従事者

参 加 費：無料

座 長：山本 尚人 先生 (浜松医療センター 血管外科 科部長 医療安全管理室)

13:00-13:05 開会のご挨拶
山本 尚人 先生

13:05-13:35 講演 1)
ガイドラインの改訂を反映した当院医療安全管理室における VTE 予防の取り組み
山本 尚人 先生

13:35-13:55 講演 2)
海老名総合病院における VTE 予防の取り組みと今後の課題
喜元 和美 先生
海老名総合病院 看護部 手術室 手術看護認定看護師

13:55-14:15 講演 3)
チームで取り組む VTE 予防 ～ 予防機器管理から算定まで ～
西原 英輝 先生
東海大学医学部付属病院 診療技術部 臨床工学技術科 科長

14:15-14:30 質疑応答



VTE 医療安全オンラインセミナー in 神奈川

病院全体で取り組む VTE（静脈血栓塞栓症）予防 Episode 2

【お申込み方法】

弊社「個人情報保護方針」(https://www.cardinalhealth.jp/ja_jp/privacy-policy.html) をご確認ください、
ご同意いただき、申込期日までにお申込みをお願いいたします。
事務局より受付完了及びセミナー参加用 URL 等をご案内させていただきます。
後日、カーディナルヘルス株式会社よりセミナーや製品のご案内をさせていただく事もございます。
ご了承ください。

1. QR コード、または URL から
専用申込フォームにアクセスしてください。

URL

https://pages.cardinalhealth-info.jp/VTE-seminar-in-Kanagawa_entry_20251011.html



2. 必要事項を入力します。
(入力前に Cardinalhealth.com からのメール受信ができるよう設定をお願いいたします。)
3. 入力後、送信ください。
4. 送信後、「申込完了」画面が表示されます。
定員をオーバーしている場合、受付終了している場合は、その旨画面に表示されます。
5. 申込完了後、ご登録のメールアドレスに、申込完了のメールが送信されます。
申込完了したにもかかわらず、翌日になっても申込完了のメールが届かない場合は下記事務局
までメールでご連絡ください。迷惑メールとして受信が拒否されている場合がございます。
6. セミナー前日に参加用 URL をお送りいたします。
届かない場合は、下記事務局までご連絡ください。

【お申込受付期限】

2025年10月10日(金) ※定員になり次第、受付締切となります。

【注意事項】

- 本セミナーは国内の医療従事者の方を対象としております。医療従事者の方以外からのお申込みは、お断りさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 申込の際はメールアドレスのご記入を必ずお願いいたします。
事務局よりセミナー参加用 URL をお送りする際に必要となります。
- スマートフォン・タブレット等からご参加いただく場合、あらかじめ「Zoom」アプリのダウンロードをお願いいたします。
- 有線接続、もしくはwi-fi環境下での参加を推奨いたします。

2. 日本医療機能評価機構 医療安全情報 9月

医療事故情報収集等事業 医療安全情報

2025年9月 No.226

WHO 世界患者安全の日(9月17日)にちなみ、
今月はテーマカラーのオレンジ色にしました。



原簿別冊者の読者ページ

定数配置薬からの アレルギーがある薬剤の投与

アレルギー情報が登録されている薬剤を定数配置薬
から準備し、患者に投与した事例が報告されています。

2020年1月1日～2025年7月31日に15件の事例が報告されています。この情報は、[第78回
報告書「分析テーマ」](#)で取り上げた内容をもとに作成しました。

事例のイメージ

❗ 定数配置薬を使用する際は、薬剤師の処方監査がありません。



◆同様・同様の定数配置薬に関連した事例には、この他に、薬名を取り違えた事例や、薬量を間違えた事例などが報告されています。

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.226 2025年9月

定数配置薬からのアレルギーがある薬剤の投与

事例1

患者はヘパリンナトリウムのアレルギーがあり、アレルギー情報に登録されていたが、看護師は確認していなかった。患者に投与していた輸液が終了した際、看護師は当直医にヘパリンナトリウムでロックしてよいか確認した。当直医はアレルギー情報を確認せず、口頭で指示した。看護師は、定数配置薬からヘパリンナトリウムを取り出し、患者の静脈ラインをロックした。2時間半後、患者に皮疹が出現し、嘔吐した。看護師はカルテを見て、患者にヘパリンナトリウムのアレルギーがあることに気付いた。

事例2

患者はロキソプロフェンのアレルギーがあったが、医師は登録されたアレルギー情報を確認せず、疼痛時指示にロキソニン錠と記載していた。患者は、眼科手術から帰室後、腰痛を訴えた。看護師はアレルギー情報を確認せず、疼痛時指示に従って定数配置薬からロキソニン錠を取り出し、与薬した。2時間後に患者が呼吸困難を訴え、看護師は患者にロキソプロフェンのアレルギーがあることに気付いた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 医師は、薬剤を指示する前にアレルギー情報を確認する。
- 看護師は、定数配置薬から薬剤を準備する際はアレルギー情報を確認する。
- アレルギー情報の確認が漏れないよう、定数配置薬を使用する際のチェックリストを作成し、活用する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

取り組みのポイント

- 定数配置薬を使用する際は、アレルギー情報を必ず確認しましょう。

(総合評価部会)

「世界患者安全の日」に関する取り組み

厚生労働省の取り組み

厚生労働省では、2001年を「患者安全推進年」と位置づけ、各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（PSA：Patient Safety Action）」と命名し、総合的な医療安全対策を推進しており、その一環として、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む一週間を「[医療安全推進週間](#)」と定め、様々な取り組みを行っています。

2019年の世界保健機関（WHO）総会において、9月17日がWPSDと制定され、同年から多くの団体の協力を得ながらWPSDの普及啓発活動を実施しています。

厚生労働省としても、今年も、医療機関、職能団体、患者団体、教育機関、学会など、さまざまな団体と協力して普及啓発活動を行います。

医療安全推進週間をきっかけに重点項目を決めて「医療安全」キャンペーンを考えてみてはどうですか？